

学級活動（３）学習指導案

指導者 呉市立港町小学校 陰 菜穂子

- 1 学 年 第２学年１組 21名
第２学年２組 20名

- 2 題 材 『学級会パワーアップ作戦！』

「自分もよくみんなもよい集団決定をしよう」

学級活動（３）ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度
の形成

- 3 題材について

（１）児童の実態

本学年の児童は、学校行事や学期始めには、それぞれがめあてを決め、それに向けて頑張ることができている。２年生の４月に、「笑顔で、前向きに物事に取り組んでいこう」という気持ちを大切にしようと、話し合っただけで決めた学年目標は「スマイル」である。第１学年の学級活動（１）の話合い活動では、教師の援助が所々で必要ではあるものの、児童が司会をして、自分達の力で話合い活動を進めることができるようになった。意見を出し合う場面では、たくさんの児童が理由をつけて自分の意見を述べるができている。しかし、意見を比べる場面になると、急に発言者が減り、一部の児童が発言をして、時間になり、賛成票の多い意見に決まるなど、異なる立場の人の意見や少数意見を大切に集めて集団決定をしているとはいえない。このことは、十分に意見を比べた上で、友だちの気持ちを大切にしながら、「自分もよくみんなもよい」と思える合意形成とはどのようなものなのかについての指導が不十分であったためと考えられる。

（２）題材設定の理由

本題材は、「学級会オリエンテーション」として、毎学年の年度当初に再確認し、活動意欲を高めるために行うものである。文部科学省／国立教育政策研究所（平成 26 年）は、「学級会オリエンテーション」について、「教師が学級会の役割や話合いの方法などについて説明し、児童がよりよい学級生活をつくるために、『みんなで取り組みたいこと』を出し合うなどして、よりよい生活や人間関係を築いていきたいという意欲を高めるために行う」と示している。

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説特別活動編（平成 30 年）に、第２学年の集団活動の発達的特質として、「活動の中心となる児童が目立ち始め、他人の立場を認めたり、理解したりしようとする態度や、よりよい学級生活を築こうとする自主性なども次第に高まってくる」と示されている。このような発達の特質と第１学年時の実態をふまえ、本題材では、話合い活動の「出し合う」「ふかめる」「まとめる」の話合いの流れの中で、他人の立場を認めたり、理解しようとしながら折り合いをつけて合意形成することの大切さ学ぶことをねらいとしている。異なる意見についても公平に考え、少数意見にも配慮しつつも、合意形成までのプロセスを意識的に体験し、そのよさを感じさせることを通して、自分自身を振り返り、学級活動（１）の話合い活動の実践にそれぞれが生かすことで、学級集団の高まりが期待できる題材である。

4 評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評価 規 準	自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常生活や学習に取り組もうとしている。	学校生活を楽しくするために日常生活課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	学校生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・ 題材を知る。 ・ アンケートに答える。 ・ 自分の問題について考えておく。	・ アンケート調査を行い結果をまとめ、学級の児童の問題の状況を確認しておく。	【関心・意欲・態度】 ・ これまでの話し合い活動に課題意識をもっている。 (アンケート調査)

6 本時のねらい

他人の立場を認めたり，理解しようとしたりしながら折り合いをつけて合意形成をするよさに気付き，問題解決に向けた話し合いをすることができる。

7 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法
つか か む	1 アンケートを基に，話し合い活動で困っていることについて共通理解をする。	・ アンケートで集計したことをランキングにして提示し，児童の興味・関心を高める。	ランキング表	
	2 どこを改善したらよりよい話し合い活動になるのかについて課題意識をもつ。	・ 1年生の話し合い活動より，さらによくしていこうとする意欲をもたせる。		
さ ぐ る ・ 見 付 け る	3 課題の原因について，司会側とフォロワー側の視点から考える。	・ いろいろな児童の考えを引き出せるように受容的な態度で進めていく。	合意形成ステップシート 役札 合意形成のための言語技術一覧	
	4 「合意形成ステップシート」を利用して，多角的・多面的な考え方を理解する。	・ 視点を変えたり，立場を変えたりして，意見を比べる方法について押さえる。		
	5 「合意形成ステップシート」を利用してグループごとに「ミニ学級会」を行う。	・ 4人一組になり，ファシリテーター役とフォロワー役を決め，話し合いによる合意形成を		

	6 ミニ学級会の振り返りをする。	体験する。 ・ 異なる立場の考えもしっかりと考える必要があることに気付かせる。その上で、意見をさらによくするための考え方を押さえる。	「折り合いのヒント」 絵カード	【思考・判断・実践】 ・ 異なる立場の意見を聞き、よりよい解決方法について考えながら話し合いをすることができている。
決める	7 自分の努力するところを決め、発表し合う。	・ 自分自身の課題を確認できるようにし、何をどのように努力したらよいのかを考えて、より具体的な自己決定ができるようにする。	振り返りシート	(振り返りシート ・ 観察・発言)

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・ 学級活動（１）で、実際に話し合い活動を行う。	・ 話し合い活動後に、自己目標に対して振り返る機会を設定する。 ・ 多角的・多面的に物事を捉えて、よりよい解決策を導いたことを評価する。	【思考・判断・実践】 ・ 異なる立場の意見を聞きよりよい解決方法について考え、自分のめあてを設定して進んで実践している。 (合意形成ステップシート ・ 発言・観察)

9 板書計画

学級会パワーアップ作せん

㊦ 自分もよくみんなもよい考えにするにはどうすればよいだろうか。

つかむ

話し合い活動

こまったなランキング

さぐる

・ おなじ人ばかりがはっぴょうするようになる。

・ どのようにまとめたらよいのか分からない。

・ なにを話したらよいのか分からない。

・ どのようにしたら一つにまとまるのか分からない。

みつける

きめる